

NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2008.6.5 第4号

ほたるシーズン到来

■ ハイケボタルの調査活動を開始します！

- ・6月下旬から8月下旬にかけて、中央公園・天神谷津・立沢・新橋・後田の5地点を定点観測します。
- ・各理事に分担し、会員を含む3、4名のチームで、週1回程度の巡回を行います。
- ・観測日の発生数・天候・気温等を所定の記録用紙に記入し、収集データを今後の活動に役立てます。
- ・その他、富里市全域について、昨年に引き続き発生地の確認を行い、幅広いデータを集めます。

■ ハイケボタル観察会の実施(7月中旬?)

- ・発生ピークを中心に、中央公園・立沢・新橋等で観察会を計画します。会員の皆さまへ各理事より事前に開催日時、開催地をお知らせして、安全に観察できるよう手配しますので、ご協力をお願いします。
- ・中央公園以外は農地のため地権者のご理解とご協力が必要です。勝手な行動は慎むようお願いします。

5/11 天神谷津の草刈りと田植え作業



草刈り七人衆(紅一点)

5月11日午前中はあいにくの小雨。急遽計画を変更し午前11時から新橋公民館に集まり会員さんの手作りの昼食を戴き、午後1時から天神谷津の草刈りと中央公園のホタル案内看板のチームに分かれて作業を実施しました。会員25名の参加があり無事終了しました。



泥に足を取られながら大奮闘！



会員の皆さんによる豚汁料理のおもてなし



心のこもったお袋の味を堪能しました。

ホタル案内看板完成！



豆知識 ホタルの生態と観察マナー

■ ホタルの生態(一生)

水辺の湿ったコケの上に産卵→産卵からふ化まで約1ヶ月。やがて幼虫になり、水中生活が始まります。→主にカワニナ(稚貝)を餌にします。→脱皮を繰り返しながら大きくなります。→上陸する時期(桜の満開から2週間ほどあと)→上陸した幼虫は水はけのよい土の中にもぐり、2週間くらいで土繭を作ります。土繭の中で3週間くらい生活し、さなぎになります。→4週間くらいで土繭をこわし、脱皮を繰り返して羽化します。→成虫になってから約1週間で命を閉じます。

■ Q&A

Q1: ホタルはなぜ光るの? **A1:** オスとメスが光で交信するためです。草むらでメスが交尾相手のオスを光で呼びます。腹部の発光部分が2つになっているのがオスで、1つになっているのがメスです。

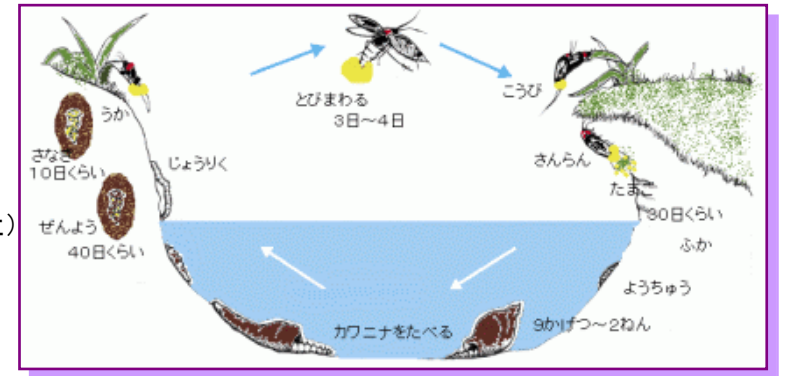
Q2: ホタルの餌は? **A2:** 成虫になってからは、水しか飲みません。幼虫はカワニナを餌にします。

■ 観察のマナー

①ホタルを持ち帰らない。②ホタルのいる場所に車のライトや懐中電灯、携帯電話、カメラのフラッシュ等の光を向けない。③畦の中ほどを歩いて下さい。よせ(側面)にホタルのさなぎがいます。また、早く発生したホタルは卵を産み付けています。

■ ホタル研究家「大場信義」先生の本(富里市立図書館の蔵書)

- ・ホタルの里(フレーベル館)
- ・だれでもできるホタル復活大作戦(ぼくらの町にホタルがもどってきた(合同出版社))
- ・ホタルの木(どうぶつ社)
- ・ホタルが先生ぼくらの環境学校(親子で楽しむ(どうぶつ社)等)



視察研修の応募〆切り

皆さまのご応募に感謝いたします！

ホタル発生地の視察研修を7月7日(月)~8日(火)の日程で行いますが、お陰様で5月30日現在、49名の申し込みを頂きました。6月6日(金)をもちまして一旦締め切りとします。これからはホタル発生地、旅館、バス会社等との連絡を密に取り有意義な、何よりも楽しい視察研修会にしたいと思います。

報告 「NPO 富里のホタル」の取組を発表

里山シンポジウム分科会「ホタルから見えるもの」 ■日時:4月26日(土) ■会場:千葉県立中央博物館
 ・基調講演:「日本と中国のホタルの多様性」(大場信義氏)・県内各地からホタル事情の報告
 ・ワークショップ「地域のホタルを残すには」

「NPO 富里のホタル」の取組について、立花理事が報告しました。富里の豊かな耕作地と農家の方々の誠意ある生産の営みが、広範囲で大量のホタルの自然発生に結びついている事、富里市の策定した「環境基本計画」の主旨に沿って活動する方針である事、などを発表しました。



パネルディスカッションの様子

会員募集中

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル
 理事長 草野孝江 ☎0476-92-4636

お陰様で、正会員が80名に増えました！
 NPO 富里のホタルは、中央公園や谷津田にホタル発生のための自然環境保護活動を推進します。